

迅速な研究成果が求められる状況下での研究倫理、研究公正及び研究風土のための原則と実施に関する宣言（和文仮訳）

[Statement of Principles and Practices for Research Ethics, Integrity, and Culture in the Context of Rapid-Results Research]

■前文 [Preamble]

科学における知識の創成と普及の成功は、公正性に留意した責任ある倫理的な研究活動を前提としています。倫理的で責任ある透明性の高い研究活動は、研究資金配分機関、研究者、政府、国際社会、及び社会的信頼の期待に応えることとなります。倫理的で責任ある研究活動のための原則、実施、枠組みは、研究資金配分機関の活動の基軸となり、各国、各機関、GRCでも明言されてきました。

しかし、研究活動に携わる我々は、緊急で突発的な世界的危機に対してますます迅速に行動することが増すにつれ、迅速に成果を出す研究のなかで求められる原則と実施について説明する必要性が高まっています。この声明は、研究資金配分機関、研究者、公的・私的研究機関（営利・非営利を問わず）、そして各国政府による迅速な研究成果創出の公正性のために求めるべき原則と実施を、8つの原則により示します。この声明は、研究の創出から普及、商業化にかかわる国内外の研究事業のあらゆる場面において研究成果を強化する可能性を持っています。8つの原則のすべてに共通する基本的な考え方は2つあります。第一に、迅速な成果の必要性に対しては、原則や実施のいずれかを軽視したり排除したりしてはなりません。迅速な成果を得るための手続きによってタイムラインが短縮されるかもしれませんが、これらの実施と原則は研究の中核であり続けなければなりません。第二に、公平性と公正さの考え方は原則と実施を運用する際に最優先しなければなりません。

■原則と実施 [Principles and Practices]

規範と研究風土 [Norms and Cultures]

研究資金配分機関、研究者、研究機関は、個人的・集団的な倫理的実践を支える規範と研究風土を共同で確立する必要があります。これには、個人の倫理的行動規範を示すこと、研究機関内で倫理的行動のための風土や規範を促進すること、科学研究のあらゆる種類と局面においてこれらの規範と風土を示すことが含まれます。規定は、規範と風土の積極的な採用を奨励・促進するとともに、そのような規範に含まれていない行為や、規範に反する行為に対処する手順を説明するものであるべきです。

■公正性 [Integrity]

研究資金配分機関は、研究インテグリティをどのように運用するかを詳細に説明する必要があります。研究資金配分機関は、研究機関や研究者と協力して研究の提案から資金調達、普及までの研究プロセスのすべての場面で、誠実性、説明責任、専門家としての礼儀、公正性、包括性、そして適正なスチュワードシップが、どのように反映されているかを説明する必要があります。この迅速な成果研究において、業務の進行速度は変わるかもしれませんが、公正性は維持されなければなりません。

■メリットレビュー [Merit Review]

科学研究の提案は、専門家の評価、公平性、適切性、透明性、機密性、インテグリティおよび倫理的配慮、ジェンダーと多様性および包括性に関する公平性への配慮を含む「ピア/メリットレビューの原則に関する GRC 声明(GRC Statement of Principles on Peer/Merit Review)」に合致した方法で評価されるべきです。迅速に結果を出す必要がある研究の場合、メリットレビューのプロセスが加速される可能性が高く、研究資金配分機関は迅速な成果の審査を規定するガイドラインを透明性をもって確立し、緊急の必要性がある場合に審査を加速させるプロセスを早急に検討すべきです。

■利益相反の軽減 [Mitigate Conflicts]

潜在的な利益相反や責務に関わるすべての活動や情報を完全かつ透明性をもって開示することは、研究の公正性を確保するために求められる研究者の広域的な責任の一部です。細心の配慮をもって管理されなければ、利益相反や責務相反は研究活動を歪める可能性があります。研究者が開示責任を果たすためには、研究資金配分機関と研究機関がどのような情報開示を行うべきかを明確に示す必要があります。迅速に成果を出す研究であるほどに多国間協力の必要性は高まり、その結果、潜在的な利益相反に対する喚起、理解を深め、軽減することにさらなる注意を払う必要がでてきます。研究資金配分機関は、短期間に成果を求められる事業/プログラムに対する明確で一貫性を保つことのできる開示要件を整えることが不可欠となります。

■知的財産権 [Intellectual Property]

研究資金配分機関は、公開されていない成果の不適切な開示や研究の不正利用を防ぐため、研究提案書、審査データ、研究報告書に含まれる専有・個人情報および知的財産の所有権を保護する規定を導入する必要があります。迅速に成果を出す研究における情報開示に関連

する具体的なリスクとしては、研究結果の普及、緊急性を伴う脅威に対処するための具体的な成果物の作成、科学的探求を行うための官民の協同の必要性などに対する圧力が挙げられます。研究資金配分機関は、科学の社会的信頼性を確保するために、情報共有と研究結果のピアレビューの必要性に関する総括的および具体的なガイドラインを策定すべきです。

■共同研究の原則 [Principled Collaboration]

迅速な成果創出研究において、科学の開拓をすすめる、新たな課題に取り組むためには、研究機関、官民、そして国境を越えた多様な協力が不可欠です。このような協力は、研究体制において不可欠であり、特に国境を越えることの多い迅速に成果を出す研究においては推奨されるべきです。研究資金配分機関は、健全な研究の実施に対する不適切な干渉の境界を定めるとともに、このような共同研究に対する期待や基準の整備を促進すべきです。研究資金配分機関と研究者は、特定の成果を条件とする研究への資金提供や、成果の評価プロセスへの直接的な影響力の行使など、研究課程のあらゆる場面において、政府当局、民間団体、社会的団体からの不適切または不当な影響となる圧力を防ぐために協力する必要があります。

■公正性違反の軽減 [Mitigate Integrity Risks]

研究資金配分機関は、適切な研究の公正性と危機管理の方針と手続きを整備し、当該方針の違反に対する管理体制の両方を確立しなければなりません。この作業には、研究資金配分機関が研究インテグリティと安全保障に関する情報を研究機関や執行当局と共有する手法を明確にすることが含まれます。不正行為への対応と是正は、違反内容に応じて適切に規定にする必要があります。違反内容の重要性の低い場合には、講和と研修を実施することになります。さらに、研究資金配分機関は、研究社会全体にかかわる研究の公正性に対するリスクの特定と軽減を支える手法を普及させることも可能です。これには、迅速な成果創出の研究において、研究支援のタイムラインを加速させるための事前対策も含まれます。

■研修 [Training]

研究資金配分機関は、研究機関と協力して、責任ある倫理的な研究の実施に関連する研修の基準を策定しなければなりません。研修内容は、研究倫理、安全保障、原則に則った共同研究のための基本など、本宣言に示すあらゆる場面を取り上げるものとします。また、迅速な成果創出の研究の状況や、緊急の世界的研究の状況に特化した要素や内容も含まれるべきです。

■検討事項 [Considerations]

GRC は、本宣言に示す原則と実施を推進するために、参加する研究資金配分機関間の継続的な議論と協力を促進する立場にあります。特に、GRC に参加の研究資金配分機関が、ベストプラクティスの継続的な発展のための情報共有と協力を導くために重要な4つの要素を提案します。

第一に、我々は、研究資金配分機関が迅速な成果創出の研究事業を構築するために使用した方針、手順、およびプロトコルを共有することを推奨します。第二に、研究資金配分機関は、申請者の審査の迅速化を支援し、より強力な多国間研究協力を促進するために、研究者の資格や取り組みに関する情報を互いに共有する方法を検討します。第三に、研究資金配分機関はメリットレビューのプロセスを支援するために新たな国際的協力関係を構築します。特に、国内の研究資金配分機関に成果評価の専門知識がない場合、専門知識を持つ研究資金配分機関との国際連携を提案します。最後に、GRC に参加の研究資金配分機関は、倫理的実施への動議付けを強化することを重視し、迅速な成果創出の研究を支援するための共有の研修資料を作成して普及させる方法を検討します。研修資料には、倫理的な研究実施を支援し、反対事例の報告義務の意義を研究者とその機関普及する最善の方法について議論を進めます。